

共有と対話のために

東京大学ヒューマニティーズセンター（HMC）は、2017年7月1日、新たな国際人文研究の場の創成を目的として、大学院法学政治学研究科、大学院人文社会系研究科、大学院総合文化研究科、大学院教育学研究科、大学院情報学環、東洋文化研究所、史料編纂所、総合図書館の8部局による連携研究機構として設立されました。2022年7月1日からは、機構の体制をさらに強化し、第2期の活動を始めています。

HMCでは、研究そのものの充実はもちろんのこと、定期的なセミナーやシンポジウムによって、研究の経過や成果を学内外の方々と共有することに努めてきました。東京大学では、すぐれた研究は個々に日々行われています。けれども、それを相互につなぐ場、学内外に開く場については、なお工夫の余地がある。このセンターでは、定期的に広場で開かれる親密な雰囲気のバザーのような、学術の日常を共有する場を作りたい。巨大プロジェクトや著名な研究者の招聘にもまして、そうした場の存在こそがヒューマニティーズには必要だ。私たちはそう考えます。

そしてこのブックレットもまた、共有と対話の一環として2019年7月に発刊され、さいわい、シリーズを重ねるごとに多くの読者を得てきました。シンポジウムやセミナーの記録として、新たな知見の発信媒体として、今後も確かな役割を果たすことを願っています。

2023年4月
ヒューマニティーズセンター 機構長 齋藤希史